



ホーム>世界>ガーナ クリスさんの報告02

一緒に歩もう!一緒に変わろう!「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう!

プログラム内容
2011年4月

報告1
2011年5月

報告2
2011年10月

報告3
2012年1月

報告4
2012年7月

報告5
2012年10月

報告6
2013年4月



現在

からし種エージェントによるからし種エージェント増殖と地域変革

西アフリカ・ガーナ

当初、7月に予定されていたリフレッシュ研修会は、クリスさんと一緒に働くスタッフの病気のために2か月遅れで9月終わりに開催。その報告が届けられたので、以下をご覧ください。

リフレッシュ研修会

9月20から22日までガーナのアクラで開催されたリフレッシュ研修会には、前回4月の研修会でチャレンジを受けた5つの地域の10人の「からし種エージェント」が、その後にそれぞれに地域で見出し、一緒に小さな働きをしてきた「次世代のからし種エージェント」40名と共に、総勢50名が参加した。今回のリフレッシュ研修会では、新しいことを教えるというより、小グループに分かれてこの半年近くのあいだで行った愛の種まき活動の状況やその経験から気づいたことを聞きあい、質問しあう時間を中心とした。こうすることで、個人的にも全体としても新しい洞察を得ることが多くあった。

愛の種まき1

ガーナの地方都市のケープ・コーストで地主から2011年の6月までに店を再開できないのなら、立ち退くようにと言われ渡された小さな店の女性店主がいた。彼女は途方に暮れてしまった。そのとき、地元で親切なメアリ・ピンクラさんを思い出し、泣きながら相談にやってきた。話を聞いて、メアリさんは自分の手元にあった全額の800円ほどを種資金として提供することにした。そして、もう一度、小さな商売を始めてみるように励ました。それ以来、メアリさんは彼女をしばしば訪問して、どのようにしたら商売がうまくいくかを分かり易く、助言し続けた。また、彼女の子供達には着る服が満足にないのを見て服を分けてあげた。店を再開した彼女が、8月の終わりにうれしそうにやってきた。「あなたの支援と助言のおかげで、5000円近くの儲けを稼ぐことができました。」9月の終わり近くには、彼女は子どもたちにご飯を食べさせ、学校の費用を払い、家の水道代や電気代も自分で払うことができるようになった。

彼女は今、メアリさんが始めたケープ・コーストの「からし種成長クラブ」の一員である。このクラブでは、会員から衣服やタオル、お菓子を集めて地域の孤児院に渡す応援もしている。

愛の種まき 2

ゲベンゴー牧師は、村人のほとんどが農業で暮らすスfum村に住んでいた。4月の研修会のあと、村のことを思いめぐらし、自分の畑で採れた野菜を村に住む身体障がいの人々に定期的に分けることにした。また、家族を養うことに苦勞している人々に、自分たちの食べる作物を作れるように畑の一部を無償貸し出すことにした。彼のこの分かち合いのおかげで、村の多くの人々が喜びの日を送っている。

愛の種まき 3

メアリ・ウィアフェさんは事業家だったが、火事のために店を失い、それ以来、主婦業に専念していた。その一方で、近所の人々の苦勞話、喜び、困ったことなどさまざまなお話に心から耳を傾けることに熱心だった。そのうちに、自分は家事ですべてを失ったと思っていたけれど、実は近所の人々に比べて、まだはるかに恵まれていることに気づくようになった。「からし種エージェント」の研修に出た人から話を聞いているうちに、ときどき面倒を見ていた親のない子のことを思い出した。そこで、その子を養子にすることにして、今、毎日、世話をし、学校に送り出すようになった、という。



首都アクラからの参加者たちが設立したアクラ・トータルケア・クラブは、町の幼い子どもを抱える未亡人、孤児たちを探し出し、子どもたちが学校に通えるように手続きをし、未亡人たちが国民保険加入を手伝い、食品と生活用品を配布した



ボルタ地域の参加者たちは、ボルタ・トータルケア・クラブを設立し、貧しいながら自分たちも少しずつお金を出し合っている。写真は、年老いた盲目の女性とその家族、知的障がいの女性と子どもたち家族などに、食料品や生活費を配布しているところ

[プログラム内容](#) [Report01](#) [Report02](#) [Report03](#) [Report04](#) [Report05](#) [Report06](#)

[Page Top](#)

[Share](#) |

[ホーム](#) [活動内容](#) [FVIの特徴](#) [参加する](#) [寄付・献金](#) [お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

